



建築確認における BIM図面審査 Revitユーザー向けサポートガイド 意匠編

2026年5月

免責事項

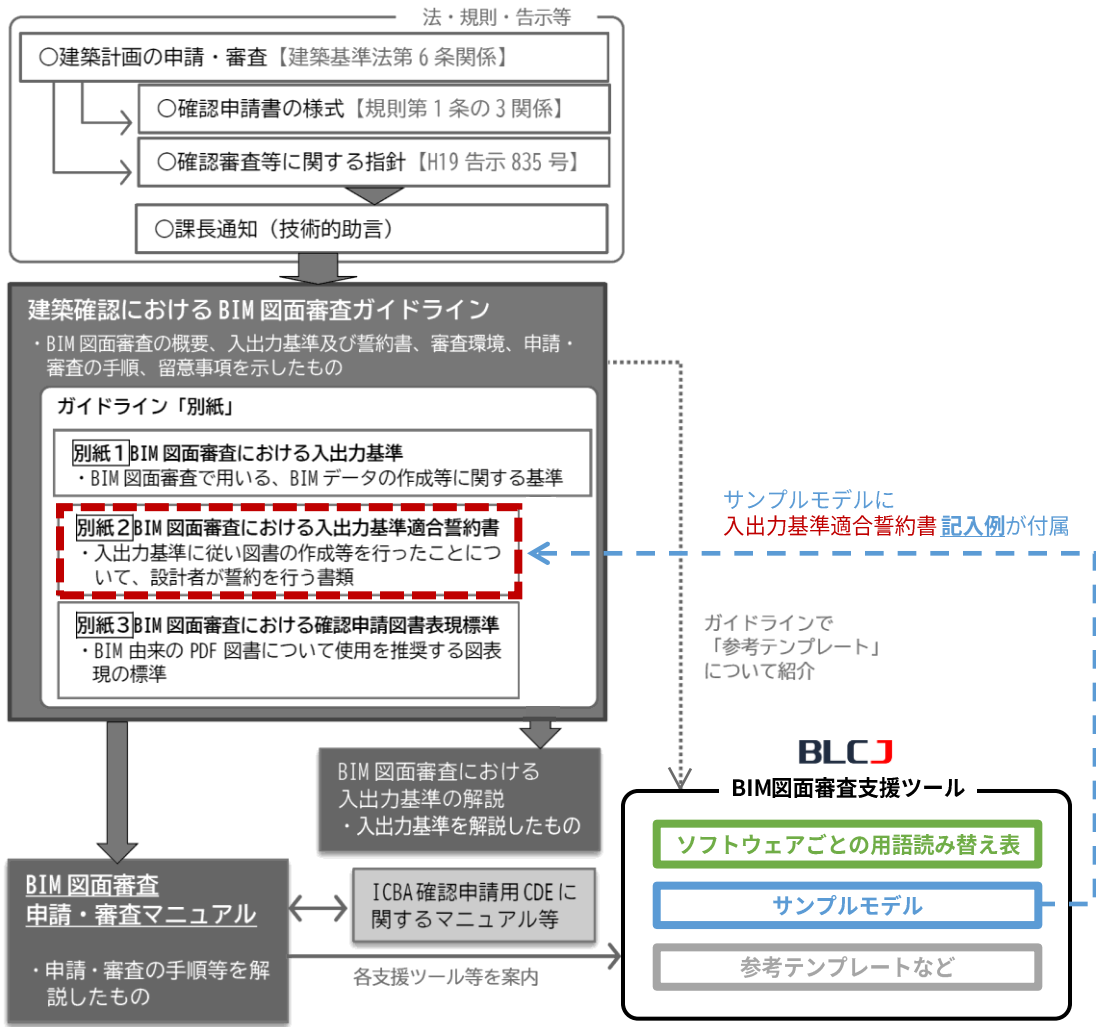
本資料はBIM図面審査におけるユーザー支援を目的とした参考資料です。
本資料で扱っているサンプルモデル（BLCJにて公開）と同様、すべての法適合を保証するものではありません。
なお、本資料の利用に起因して、利用者または第三者に損害が生じた場合でも、当社は一切の責任を負いかねます。



第三者へのトレーニングやセミナー等実施のため、このドキュメントや関連データを無断で複写、配布、転載は禁止されています。

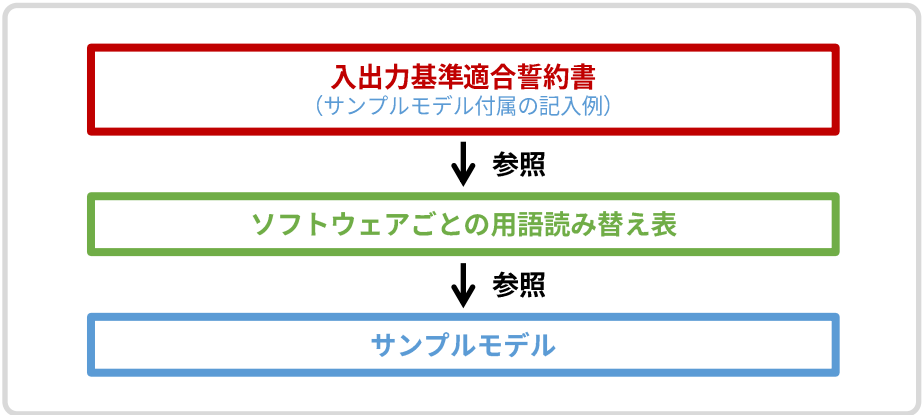
本書は、BIM図面審査に関する各種資料の要点を、Revitユーザーの皆様向けに体系的に整理したものです。Revitを活用してBIM図面審査に臨んでいただく際の最初の一步をサポートすることを目的としています。

本書の位置づけ



建築BIM推進会議「BIM図面審査申請審査者用マニュアル（令和8年3月24日版）」より抜粋・加工

入出力基準適合誓約書とサンプルモデルが具体的にどのように対応しているか
ソフトウェアごとの用語読み替え表を介してRevitユーザー向けに解説



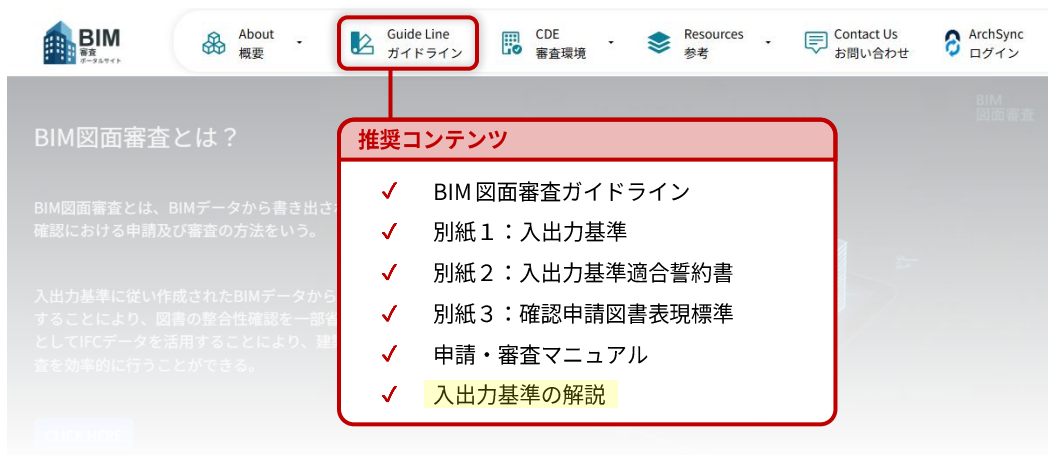
BIM図面審査に関する主なリソースをご紹介します（2026年5月現在）。
本書では主に■部を対象に解説を行います、■部についても併せて確認することを特にお薦めします。

主なリソース

1. BIM審査ポータルサイト

BIM審査ポータルサイト ▶

- ・提供元： ICBA（確認申請用CDEの運営機関）
- ・対象者： 審査者・申請者（設計者）



2. BIM図面審査支援ツール

BIM図面審査支援ツール ▶

- ・提供元： BLCJ（BIMライブラリ技術研究組合） ※解散済みのためアーカイブにアクセス可能
- ・対象者： 主に申請者（設計者）



BLCJによるサンプルモデルはRC造・S造の2種類が公開されていますが（2025年5月現在）、本書は「S造1000㎡事務所モデル^{*1}」について解説を行います。

S造1000㎡事務所モデル サンプルモデル①②の相違点

項目	意匠モデル	
	サンプルモデル①	サンプルモデル②
排煙種別色分け	空間オブジェクト属性情報による色分けカラースキーム（部屋）	2次元ハッチングによる色分け（塗り潰し領域）
壁の区画種別	壁オブジェクトの属性情報によるフィルタでの色付け	2次元ライン（詳細線分による区画種別の上書き）
区画面積	空間オブジェクト（部屋）による面積およびカラースキーム（部屋）	2次元ハッチング（塗り潰し領域）の面積を参照し、テキストで手入力
建具・防火符号	ドアの属性情報値を利用した凡例表示（ドア【防火性能】に文字入力）	ドアタイプの属性情報を利用した凡例表示（ドアタイプの【防火】にて管理）
避難距離	BIMの計算機能を利用した経路表示・長さ集計（避難距離ツール）	2次元オブジェクトを使用し、集計表で長さを算出（詳細項目ファミリー）
スパンドレル	平面と立面表示が連動するオブジェクトを使用（「防火区画_スパンドレル部分」ファミリー）	2次元ラインと2次元ハッチング（塗り潰し領域）を使用 ※表示は連動しない
代替進入口	平面と立面表示が連動するオブジェクトを使用（「代替進入口」ファミリー）	2次元凡例を使用 ※平面と立面表示は連動しない

BLCJのWEBサイトより抜粋

本書では、入出力基準^{*2}の各項目に対して

- ・サンプルモデル①②に共通する事項
- ・サンプルモデル①②に共通しない事項（個別に扱う事項）

を区別して解説します。

入出力基準の各項目とサンプルモデル①②の対応

入出力基準 項目番号	サンプルモデル①② 共通	サンプルモデル①② 個別
意-001	●	
意-002	●	
意-003	●	
意-004	●	
意-005	●	
意-006	●	
意-007	●	
意-008	●	
意-009	●	
意-010		●
意-011	●	
意-012	●	
意-013	●	
意-014	●	
意-015		●
意-016		●
意-017		●
意-018		●
意-019	●	

各ページ 右上の表記	サンプルモデル： ① / ②	サンプルモデル： ①
		サンプルモデル： ②

^{*1}： BLCJ「BIM図面審査サンプルモデル S造1000㎡事務所モデル 意匠 Revit（2026年3月31日版）」
^{*2}： 建築BIM推進会議「BIM図面審査における入出力基準（令和8年3月24日版）」

参考までに、意匠の入出力基準（出所は前頁と同じ）の項目ごとの特徴を整理した表を下記に示します。

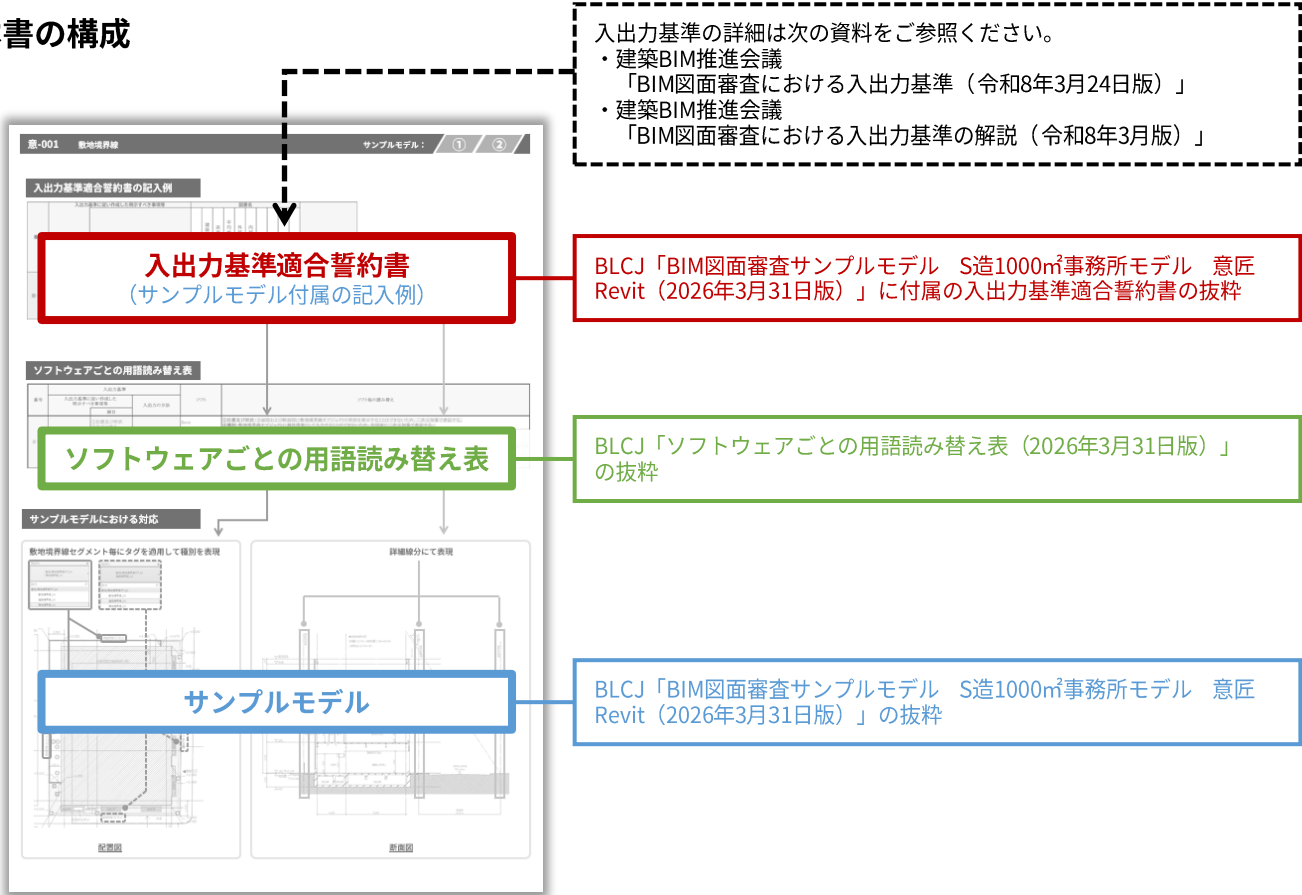
- ・ソフトウェアごとの用語読み替え表におけるRevitの該当有無
- ・設備の入出力基準からの参照有無（有の場合、設備は意匠の入出力基準を満たした意匠モデルを参照する必要がある）

意匠の入出力基準 項目ごとの特徴

入出力基準 項目番号	用語読み替え表	設備からの参照
意-001	有	有
意-002	有	
意-003	有	
意-004	有	有
意-005		
意-006		有
意-007		有
意-008		有
意-009		
意-010		
意-011	有	有
意-012	有	有
意-013		
意-014		
意-015	有	有
意-016	有	有
意-017		
意-018	有	
意-019		

次頁以降の本書の基本構成を下記に示します。

本書の構成



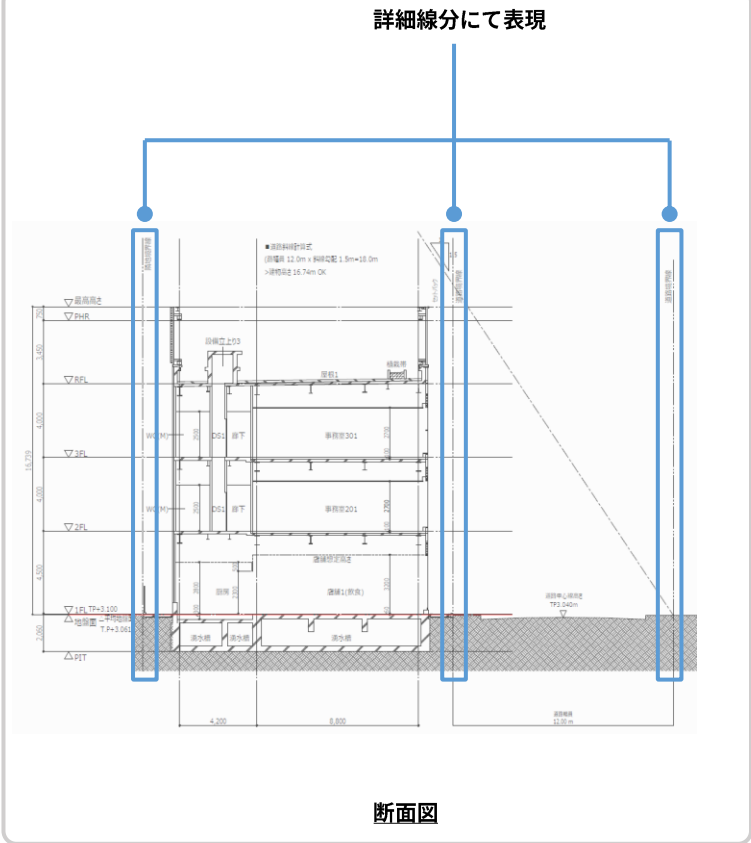
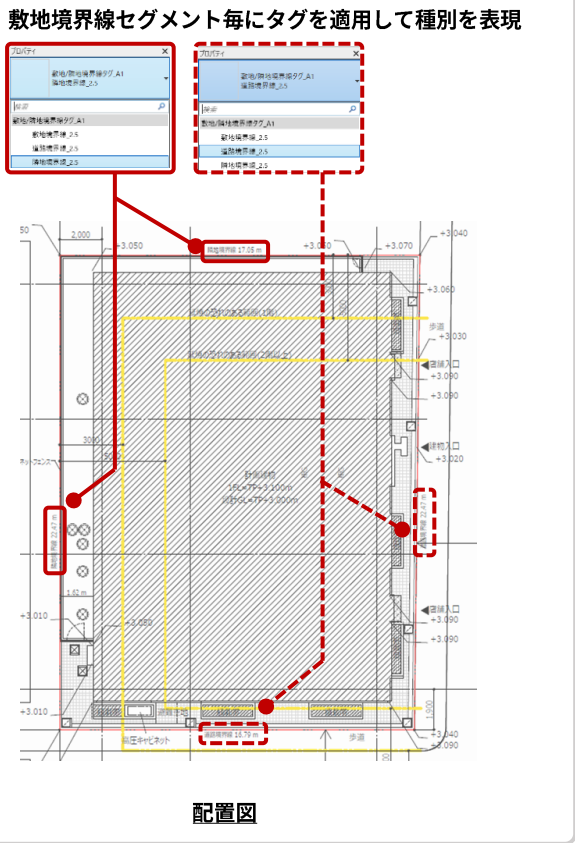
入出力基準適合誓約書の記入例

番号	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	細目	図書名									備考	
			概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図		断面図
意-001	敷地境界線	①位置及び形状	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	
		②各辺の長さ	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
		③敷地面積の求積に必要な敷地の各部分の寸法及び算式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		④種別（敷地の道路に接する部分（道路境界線）、隣地境界線などの別）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	入出力の方法		
意-001	敷地境界線	①位置及び形状 ②各辺の長さ ③敷地面積の求積に必要な敷地の各部分の寸法及び算式 ④種別（敷地の道路に接する部分（道路境界線）、隣地境界線などの別）	Revit	①位置及び形状：立面図および断面図に敷地境界線オブジェクトの形状を表示することはできないため、二次元加筆で表記する。 ④種別：敷地境界線オブジェクトに属性情報として入力することができないため、各図面に二次元加筆で表記する。
			Archicad	敷地マナージャーの機能を用いて各細目を入力する。
			Vectorworks	敷地境界線の種別は属性情報として入力することができないため、各図面に二次元加筆で表記する。立面図および断面図への敷地境界線の形状は二次元加筆で表記する。
			GLOBE	①②③敷地境界線は、敷地境界・地盤オブジェクトを用いて入力する。 ④敷地境界線の種別は、道路境界線オブジェクトや隣地境界線オブジェクトなどの、種別を持つオブジェクトを用いて入力する。

サンプルモデルにおける対応



入出力基準適合誓約書の記入例

入出力基準に従い作成した明示すべき事項等			図書名									備考	
番号		細目	概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図		断面図
意-002	地盤面及び平均地盤面	①位置及び形状	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	
		②地盤面及び平均地盤面からの建築物の各部分の高さ	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	
		③符号	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	入出力の方法		
意-002	地盤面及び平均地盤面	①位置及び形状 ②地盤面及び平均地盤面からの建築物の各部分の高さ ③符号	入出力基準書参照	
				Revit
				Archicad
				Vectorworks
				GLOBE

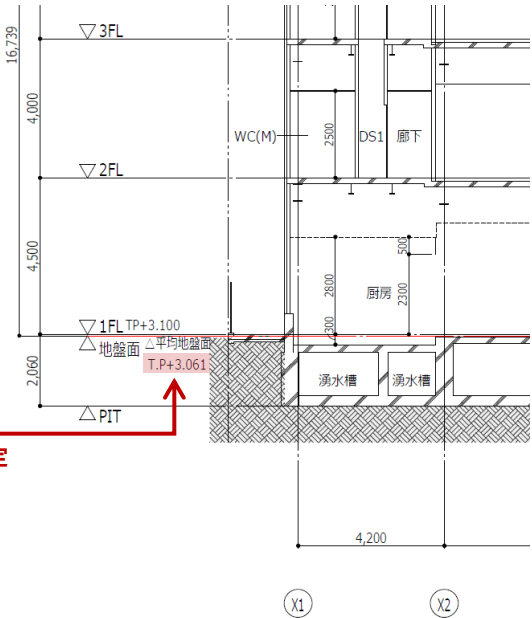
サンプルモデルにおける対応

地盤面・平均地盤算定表で算出した数値にあわせて立面図・断面図における地盤面・平均地盤面のレベルを手動で設定

面積 (㎡)	
区画	高さ(m) × 周長(m) / 2
A - B	(-0.040 - 0.040) × 13.850 / 2 = -0.5540
B - C	(-0.040 - 0.010) × 3.670 / 2 = -0.0918
C - D	(-0.010 - 0.010) × 1.280 / 2 = -0.0128
D - E	(-0.010 - 0.040) × 5.150 / 2 = -0.1288
E - F	(-0.040 - 0.040) × 2.560 / 2 = -0.1024
F - G	(-0.040 - 0.010) × 2.590 / 2 = -0.0648
G - H	(-0.010 - 0.010) × 1.280 / 2 = -0.0128
H - I	(-0.010 - 0.040) × 3.670 / 2 = -0.0918
I - J	(-0.040 - 0.030) × 1.175 / 2 = -0.0411
J - K	(-0.050 - 0.050) × 12.675 / 2 = -0.6338
K - L	(-0.050 - 0.050) × 17.435 / 2 = -0.8718
L - M	(-0.000 + 0.000) × 1.125 / 2 = -0.0000
M - A	(0.000 - 0.040) × 1.640 / 2 = -0.0328
合計	68.100 -2.639
面積合計 / 周長合計 = -2.639 / 68.100 = -0.039	

平均地盤面 = 1FL - 0.039m = TP+3.100 - 0.039 = TP+3.061

手動設定



平均地盤算定表

断面図

入出力基準適合誓約書の記入例

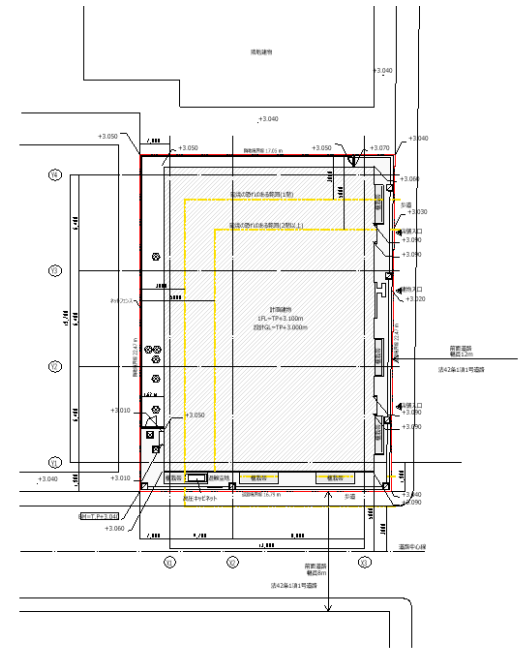
番号		入出力基準に従い作成した明示すべき事項等 細目	図書名									備考
			概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図	
意-003	方位	①方位	-	-	-	○	-	-	○	○	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号		入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
		入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項 細目	入出力の方法		
意-003	方位	①方位	入出力基準書参照	Revit	標準機能では方位オブジェクトが無いため、 <u>回転角度</u> を入力する事で向きが回転する一般注釈オブジェクトを用いる等で対応する。
				Archicad	プロジェクト設定内の「オブジェクトの場所」設定において北を定義し、方位オブジェクトを用いて表示する。 方位オブジェクト内の「オブジェクトの北に紐」設定をアクティブにすること。
				Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				ALOCORE	ソフトウェア特有の読み替えは無い

サンプルモデルにおける対応

一般注釈オブジェクトにて方位を表記（回転角度は任意の値を入力）



タイプ プロパティ

ファミリ(F): 方位記号

ロード(L)...

タイプ(T): -30°

複製(D)...

名前変更(R)...

タイプ パラメータ(M)

パラメータ	値
描像	
振れ角	-30.00°
クワイックス	
引出線矢印	なし
寸法	
半径(mm)	15.0
識別情報	
説明	
K_Ver.	
その他	
r	120.00°

これらのプロパティの動作

<< プレビュー(P)

OK

キャンセル

適用

配置図

入出力基準適合誓約書の記入例

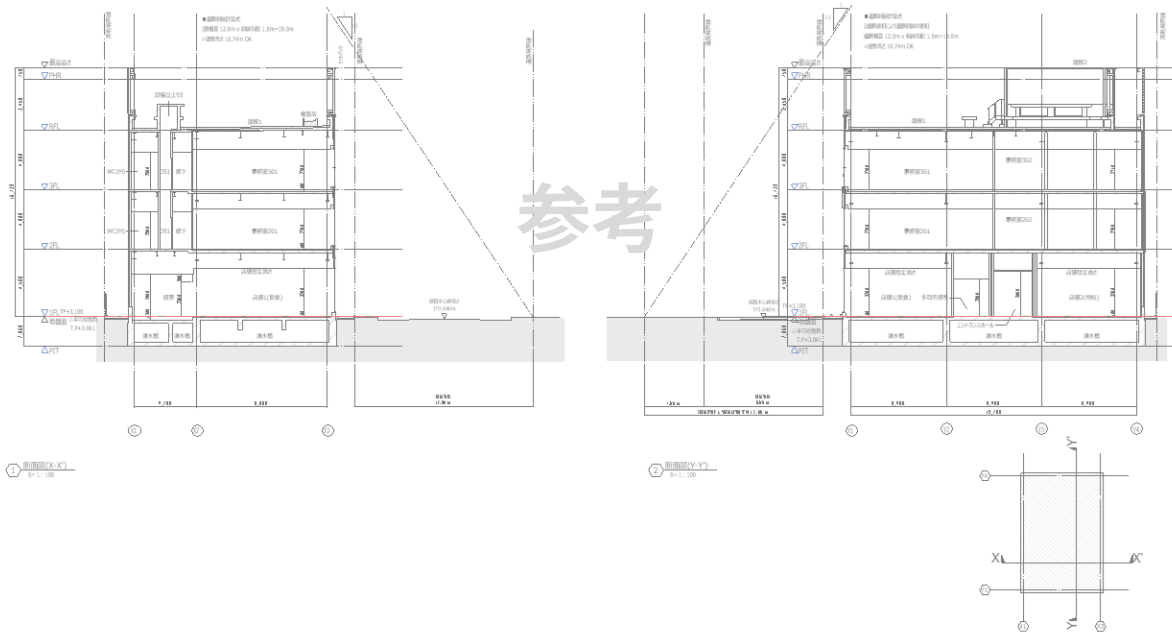
番号		入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	図書名								備考		
			概 要 書	建 築 面 積 求 積 図	床 面 積 求 積 図	平 均 地 盤 面 測 定 図	外 部 仕 上 げ 表	内 部 仕 上 げ 表	配 置 図	平 面 図		立 面 図	断 面 図
意-004	通り芯	①位置及び形状	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	
		②通り芯間の寸法	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	
		③符号	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号		入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
		入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項	入出力の方法		
意-004	通り芯	①位置及び形状 ②通り芯間の寸法 ③符号	入出力基準参照	Revit	断面図や立面図の切断面と直交していない通り芯オブジェクトは表示することができないため、その部分は二次元加筆で表示する。
				Archicad	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				GLOBE	ソフトウェア特有の読み替えは無い

サンプルモデルにおける対応

サンプルモデルにおいては全ての切断面と通り芯が直交しているため二次元加筆の事例は無し



断面図

入出力基準適合誓約書の記入例

番号	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	図書名	概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図	断面図	備考
意-005	各階基準線	①位置及び形状	-	-	-	-	-	-	-	-	○		
		②各階基準線間の寸法	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	
		③符号	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準	ソフト	ソフトウェアごとの読み替え
意-005	各階基準線	Revit	ソフトウェア特有の読み替えは無い
		Archicad	①は各階基準線の形状、符号はフロア高さの表示設定を用いる。 ②ソフトウェア特有の読み替えは無い。
		Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
		GLOOBLE	①モデルの「階設定」で設定した結果が各階基準線として表記される。 ②各階基準線間の寸法は、立面図や断面図の作成時に、自動的に表記される。

サンプルモデルにおける対応

各階基準線はレベルにて入力し、各階基準線間の寸法は平行寸法にて入力

プロパティ

レベル標準上表記

レベル線 (1)タイプ編集

拘束

高さ8500.0

上の階既定値

寸法

算定高さ0.0

範囲

スコープボックスなし

識別情報

名前3FL

構造

建物の階

プロパティ

長さ寸法スタイル通り寸法(3.0)

寸法 (1)タイプ編集

グラフィックス

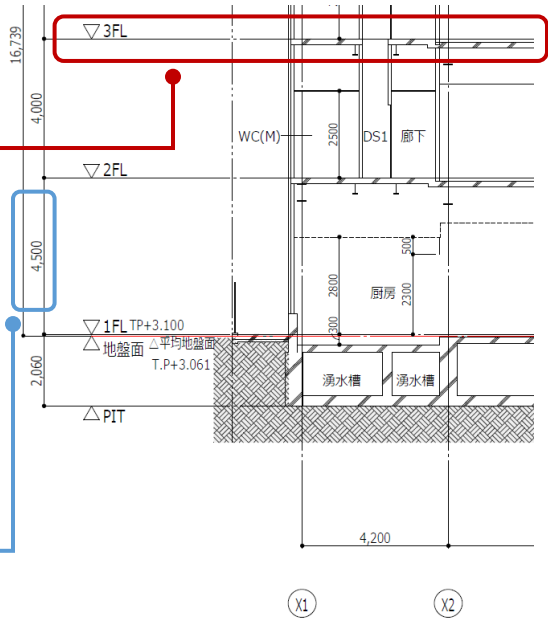
引出線

基準線オフセット0.0000 mm

その他

ラベル<なし>

EQ表示値



断面図

入出力基準適合誓約書の記入例

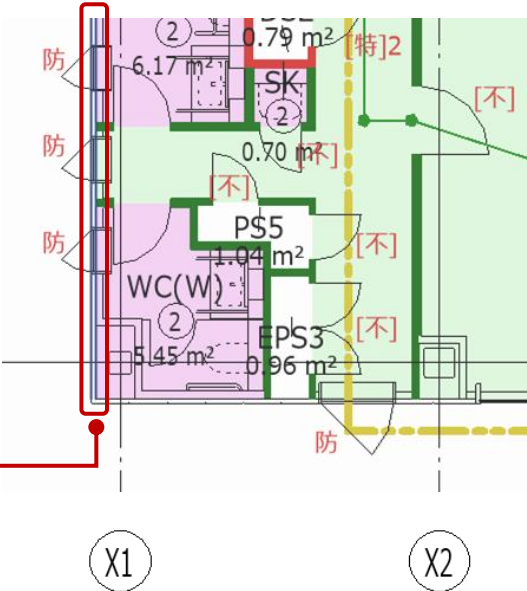
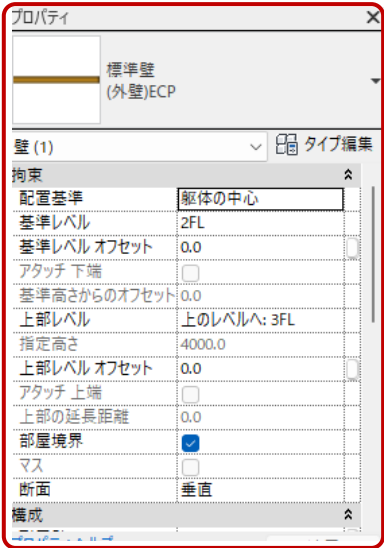
番号		入出力基準に従い作成した明示すべき事項等 細目	図書名									備考	
			概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図		断面図
意-006	外壁	①位置及び形状	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号		入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
		入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項 細目	入出力の方法		
意-006	外壁	①位置及び形状	入出力基準参照	Revit	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				Archicad	ソフトウェア特有の読み替えは無い ※入出力基準に記載のオブジェクト(ツール)以外のツールを用いて壁を作成した場合は、適切な分類を割り当ててプロパティの情報を入出力出来るようにし、入出力基準2-1-1図面1(1)の内容を満たすこと。また、分類を初期設定からカスタムして使用している場合は、IFCのタイピングが正しく設定しているか注意が必要。
				Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				GLIBORBI	外壁は、壁オブジェクトまたは外壁仕上オブジェクトを用いて入力する。

サンプルモデルにおける対応

外壁は壁ファミリにて入力



平面図

入出力基準適合誓約書の記入例

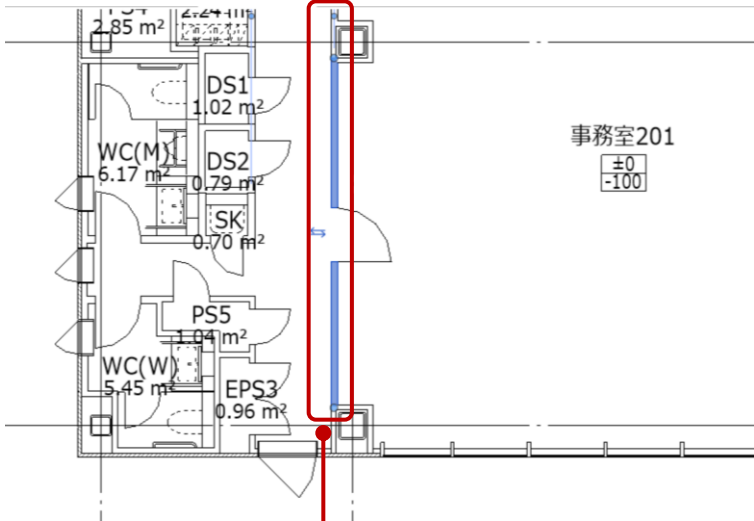
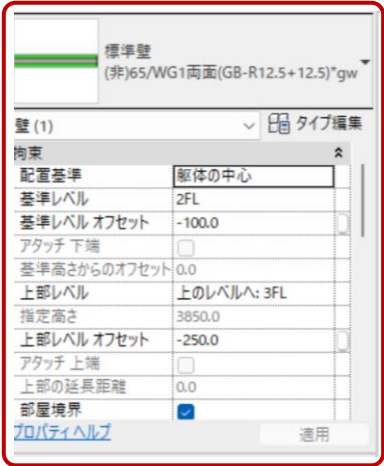
番号	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	図書名	図書名								備考		
			概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図		立面図	断面図
意-007	間仕切壁	①位置及び形状	-	○	○	○	-	-	-	○	-	○	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え	
	入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項	入出力の方法			
					細目
意-007	間仕切壁	①位置及び形状	入出力基準参照	Revit	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				Archicad	ソフトウェア特有の読み替えは無い ※入出力基準に記すオブジェクト(アール)以外のアールを用いて壁作成した場合は、適切な分類を割り当ててプロパティの情報を入出力出来るようにし、入出力基準②-1(総面)の情報を満たすこと。また、分類を初期設定からシステムとして使用している場合は、ITCのタイプマッピングが正しく設定されているが注意が必要。
				Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				GLORIE	ソフトウェア特有の読み替えは無い

サンプルモデルにおける対応

間仕切壁は壁ファミリにて入力



平面図

入出力基準適合誓約書の記入例

番号		入出力基準に従い作成した明示すべき事項等 細目	図書名								備考		
			概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図		立面図	断面図
意-008	柱	①位置及び形状	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号		入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
		入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項 細目	入出力の方法		
意-008	柱	①位置及び形状	入出力基準参照	Revit	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				Archicad	ソフトウェア特有の読み替えは無い ※入出力基準に記す「オブジェクト(フレーム)」以外のツールを用いて柱を作成した場合は、適切な分類を割り当ててプロパティの情報を入出力出来るようにし、入出力基準2-1-1図面1の「内容」を満たすこと。また、分類を初期設定からカスタムして使用している場合は、IFCのタイプマッピングが正しく設定されているか注意が必要。
				Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				GLORIE	ソフトウェア特有の読み替えは無い

サンプルモデルにおける対応

柱は柱ファミリにて入力

プロパティ

 構造柱_S_角型P
構造柱_S_角型P_w400d400

構造柱 (1) ▼ 図タイプ編集

拘束

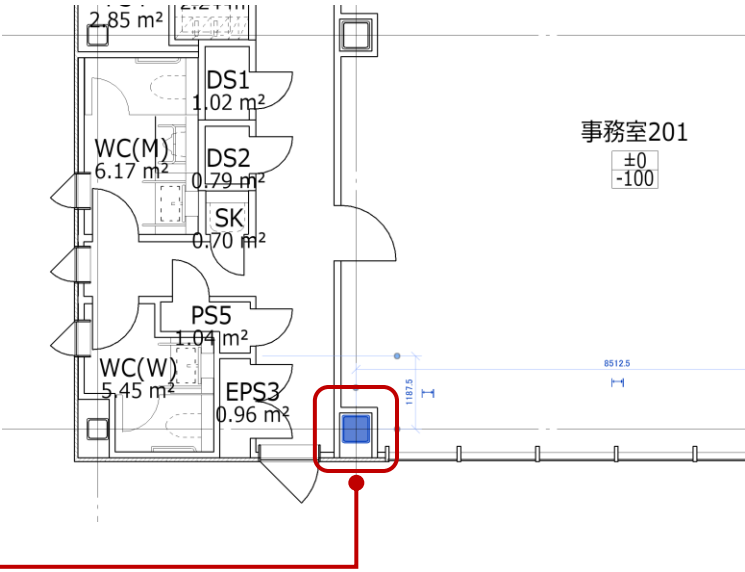
基準レベル	2FL
基準レベル オフセット	0.0
上部レベル	3FL
上部レベル オフセット	0.0
勾配 定義	鉛直
通芯 固定	☒
配置 通芯	X2-Y1

セット

耐火被覆厚	25.0
-------	------

グラフィックス

柱被覆_表示	☒
--------	-------------------------------------



入出力基準適合誓約書の記入例

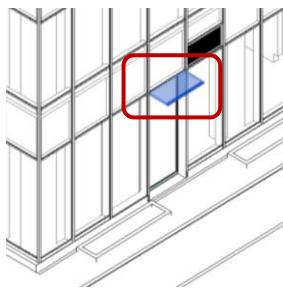
入出力基準に従い作成した明示すべき事項等			図書名										備考
番号		細目	概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図	断面図	
意-009	各階の床、屋根、軒及びひさし等	①位置及び形状	-	-	-	-	-	-	△	△	△	△	△監約対象外：配置図・平面図のひさしは二次元加筆、断面図にひさしは無し

ソフトウェアごとの用語読み替え表

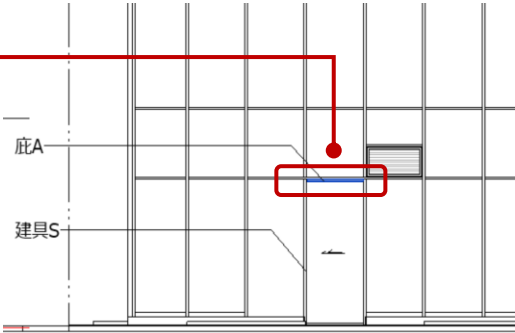
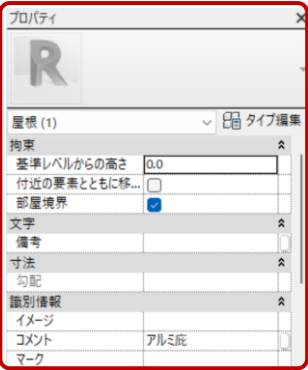
番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え	
	入出力基準に従い作成することで、 図書間の整合が担保される事項	入出力の方法			
					細目
意-009	各階の床、屋根、軒 及びひさし等	①位置及び形状	入出力基準参照	Revit	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				Archicad	ソフトウェア特有の読み替えは無い ※入出力基準に記載のオブジェクト(ツール)以外のツールを用いて作成した場合は、適切な分類を割り当ててプロパティの情報を入出力出来るようにし、入出力基準 2-1-1(範囲1イ)の内容を確認すること。また、分類を初期設定からカスタムして使用している場合は、BIMのタイプマッピングが正しく設定されているか注意が必要。
				Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				GLX000E	床、屋根、軒及びひさし等は、原則として、スラブ/屋根/軒/壁オブジェクトを用いて入力する。仕様によっては、カタログ部品や汎用オブジェクトを用いて入力する。

サンプルモデルにおける対応

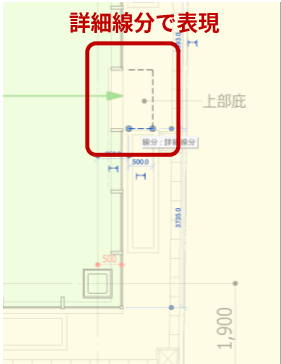
庇は屋根ファミリにて入力し、配置図・平面図では詳細線分で表現



【参考】3Dビュー



立面図



平面図

入出力基準適合誓約書の記入例

番号	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	図書名	概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図	断面図	備考
意-010	各階の天井	①位置及び形状	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
	入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項	入出力の方法		
意-010	各階の天井	①位置及び形状	入出力基準書参照	Revit
				Archicad
				Vectorworks
				GLORIE

サンプルモデルにおける対応

天井は天井ファミリにて入力

プロパティ

天井 (仕上)DRt15 (640mmシステムグリッド天井)

天井 (1) タイプ編集

拘束

基準レベル3FL

オフセット(基準レベル)2700.0

部屋境界☒

文字

備考

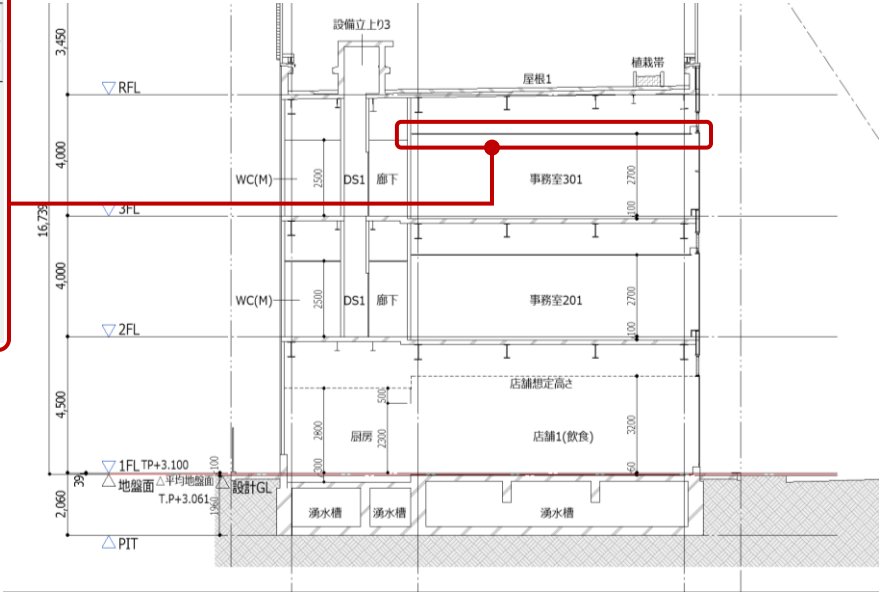
寸法

勾配

周長40450.0

面積89.1356250

容積0.891



断面図

入出力基準適合誓約書の記入例

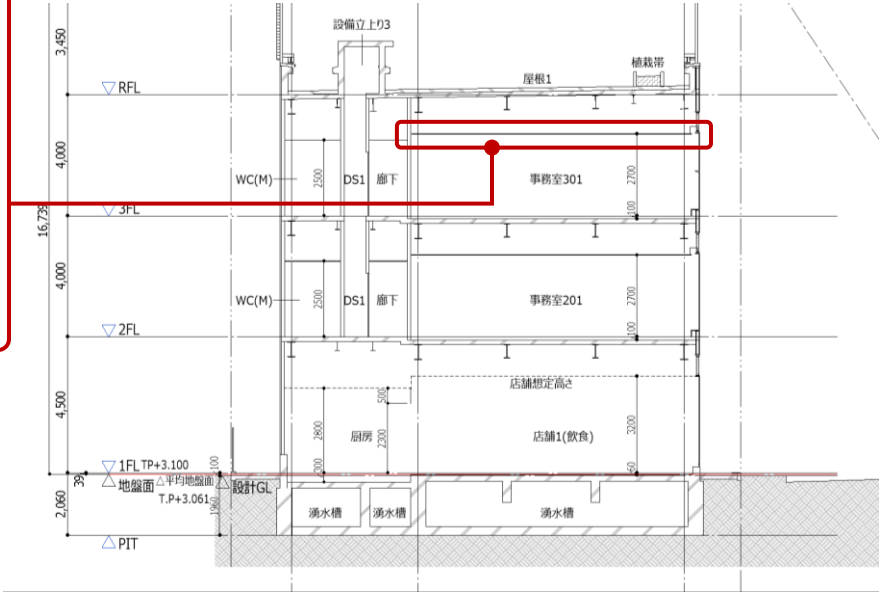
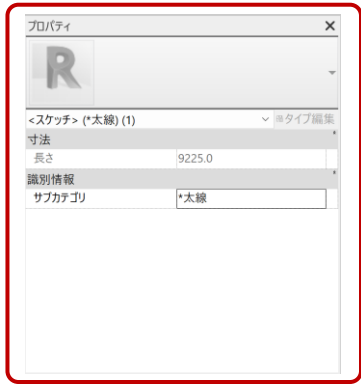
番号	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	図書名	図書名								備考	
			概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図		立面図
意-010	各階の天井	①位置及び形状	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え	
	入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項	入出力の方法			
					細目
意-010	各階の天井	①位置及び形状	入出力基準参照	Revit	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				Archicad	ソフトウェア特有の読み替えは無いが、分類はArchicad分類より仕上/天井にすることが望ましい。 ※入出力基準に記すオブジェクト(ツール)以外のツールを用いて天井を作成した場合は、適切な分類を割り当ててプロパティの情報を入出力出来るようにし、入出力基準と1-1図面(1)の内容を満たすこと。また、分類を初期設定からカスタムして使用している場合は、BIMのタイプマッピングが正しく設定されているか注意が必要。
				Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				GLOBE	天井は、内部天井仕上/外部天井仕上/スラブ/屋根オブジェクトを用いて入力する。

サンプルモデルにおける対応

天井は詳細線分（塗り潰し領域の境界線）にて入力



断面図

解説動画あり

入出力基準適合誓約書の記入例

番号		入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	図書名									備考
			概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図	
意-011	開口部	①位置及び形状	-	-	-	-	-	-	-	○	○	
		②開閉方法	-	-	-	-	-	-	-	○	○	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号		入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
		入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項 細目	入出力の方法		
意-011	開口部	①位置及び形状 ②開閉方法	入出力基準書参照	Revit	②開閉方法は「属性情報として入力し、表記する」とあるが、平面図や立面図における開閉方法の表記および属性情報との整合は、ドア/窓ファミリ/壁オブジェクト(カーテンウォール)で予め設定する必要がある。
				Archicad	壁オブジェクトをカーテンウォールと読み替える。
				Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				GLOBE	開口部は、建具/カーテンウォール/壁開口オブジェクトを用いて入力する。

サンプルモデルにおける対応

開口部はドア/窓ファミリ（外壁はカーテンウォール）にて入力

a4_片開き_框戸
w900h2100

ドア (1) タイプ編集

拘束

(建具)建具番号10

基準レベル2FL

下枠高さ0.0

構成

防火性能[不]

(建具)遮音性能-

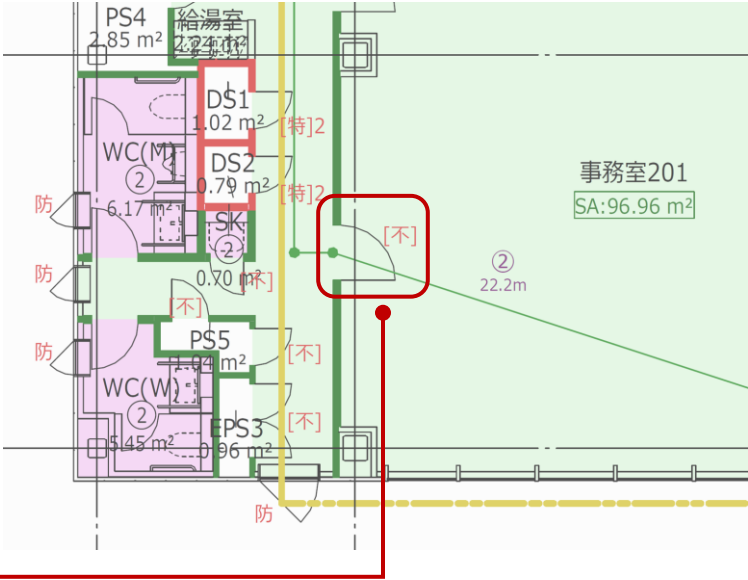
(建具)その他性能-

(建具)気密性能-

(建具)セキュリティ

枠タイプ(文字)

グラフィックス



平面図

入出力基準適合誓約書の記入例

番号		入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	図書名									備考	
			概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図		断面図
意-012	各室の用途	①各室の用途（室名等）	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
	入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項	入出力の方法		
意-012	各室の用途	①各室の用途(室名等)	入出力基準書参照	Revit
				Archicad
				Vectorworks
				GLOBE

サンプルモデルにおける対応

室名は部屋の名称として入力

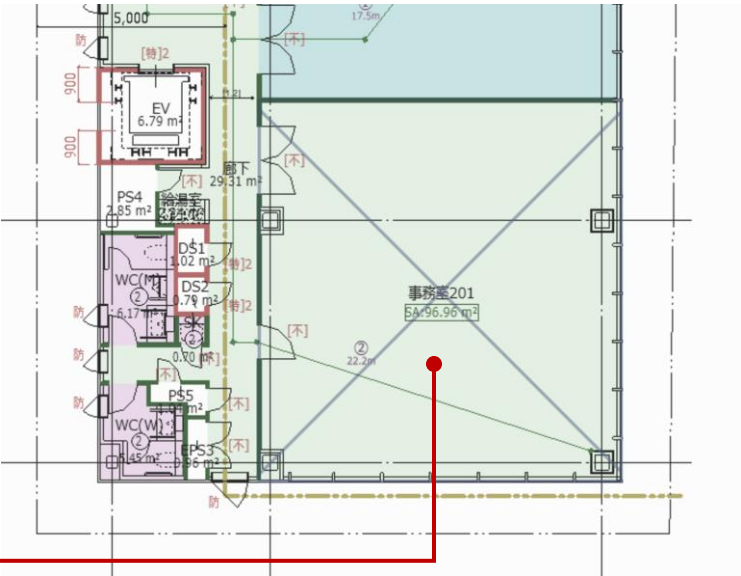
プロパティ

R

部屋 (1)

識別情報

番号	33
名前	事務室201
イメージ	
コメント	
用途	専有_事務室
部署	
仕上 樺木	ビニル樺木 h60
仕上 天井	DRt15 (640mmシステ...
仕上 壁	EP-G
仕上 床	タイルカーペットA
天井高	



平面図

入出力基準適合誓約書の記入例

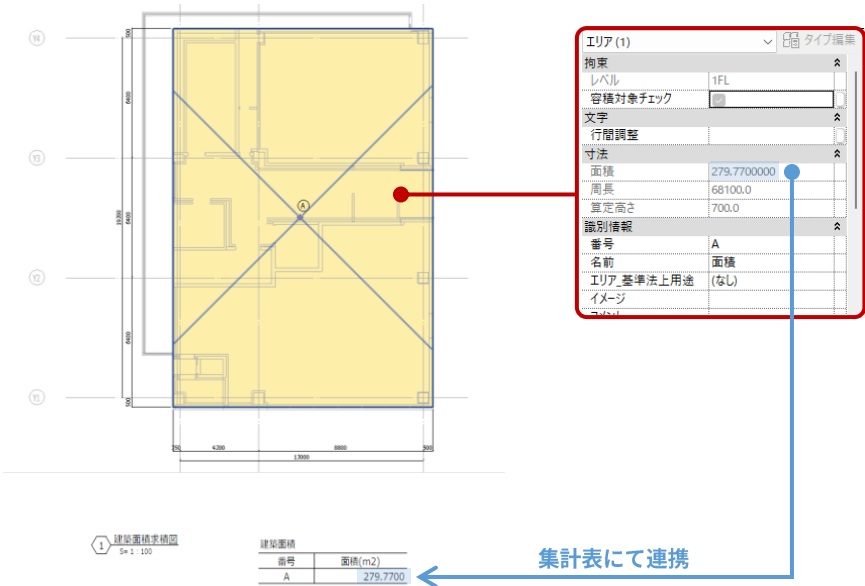
番号	入出力基準に準拠作成した明示すべき事項等	図書名	概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図	断面図	備考
意-013	建築面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	①建築面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
	入出力基準に準拠作成することで、図書間の整合が担保される事項	入出力の方法		
意-013	建築面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	①建築面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	入出力基準書参照	Revit
				ソフトウェア特有の読み替えは無い
				Archicad
				面積計測機能は、ソフト間で読み替える。集計テーブルは、集計機能で読み替える。
				Vectorworks
				ソフトウェア特有の読み替えは無い
				GLORIE
				①の基準を満たすオブジェクトとして、申請面積図面を入力できる建築面積図面オブジェクトを用いる。

サンプルモデルにおける対応

建築面積はエリアで算出



建築面積求積図

解説動画あり

入出力基準適合誓約書の記入例

番号	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	欄目	図書名								備考	
			概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図		立面図
意-014	床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	①床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
		②各階の床面積の容積率の対象内外の別	-	-	○	-	-	-	-	-	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
	入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項	入出力の方法		
意-014	床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	入出力基準参照	Revit	ソフトウェア特有の読み替えは無い
			Archicad	面積を示すオブジェクトはゾーンと読み替える。 集計ツールは「集計」読み替える。
			Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
			GLORIE	①の基準を満たすオブジェクトとして、申請面積図面を入力できる床面積区画オブジェクトを用いる。

サンプルモデルにおける対応

各階床面積はエリアで算出

エリア (1)

1FL

容積対象チェック

文字

行間調整

寸法

面積

6.7865000

周長

10440.0

算定高さ

700.0

識別情報

番号

11

名前

面積

エリア_基準法上用途

08990_その他 (EV昇...

イメージ

容積対象有無を入力

エリア (1)

1FL

容積対象チェック

文字

行間調整

寸法

面積

67.3132000

周長

34120.0

算定高さ

700.0

識別情報

番号

3

名前

面積

エリア_基準法上用途

08440_物品販売店

イメージ

容積対象有無を入力

1階延床面積

エリア_基準法上用途	番号	面積(m2)
1FL		
08470_事務所	1	88.2300
08450_飲食店	2	110.7867
08440_物品販売店	3	67.3132
容積対象		266.3299
08990_その他 (EV昇降機)	11	6.7865
容積対象外		6.7865

集計表にて連携

床面積求積図

解説動画あり

入出力基準適合誓約書の記入例

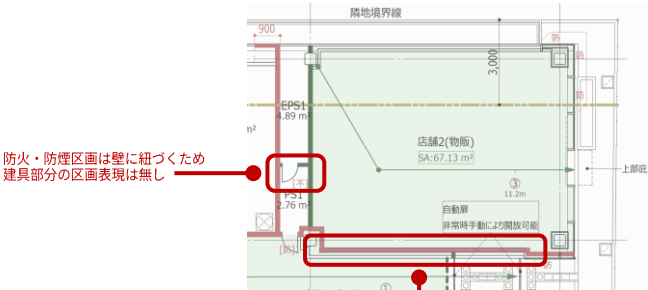
番号	図書名	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等		概要書	建築面積 求積図	床面積 求積図	平均地盤 面測定図	外部仕上 げ表	内部仕上 げ表	配置図	平面図	立面図	断面図	備考
		細目												
意-015	防火区画等（令第112条及び令第114条の規定）	①防火区画等の境界への該当及び防火区画等の種別		-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
		②面積		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
	入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項	入出力の方法		
意-015	防火区画等（令第112条及び令第114条の規定）	①防火区画等の境界への該当及び防火区画等の種別 ②面積	Revit Archicad Vectorworks GLORIE	「領域を示すオブジェクトを用いて」とあるが、基準を満たすように配置されているば、空間オブジェクトである「部屋」も使用可能。
				領域を示すオブジェクトはゾーンを読み替える。 集計ツールは一度読み替える。
				ソフトウェア特有の読み替えは無い
				①防火区画等の境界への該当及び防火区画等の種別は、2D/ハイパーディメンション/柱/壁オブジェクトの法的区画種別属性として割り当て。区画性能設定コマンドを用いて、防火区画オブジェクトを囲う壁等の法的区画種別属性を自動割り当てできる。 ②防火区画等において面積算定が必要な区画は、防火区画オブジェクトをベースを参照し入力する。

サンプルモデルにおける対応

防火区画等の位置は壁ファミリにて入力
ビューテンプレートにて壁の区画分類を読み取り区画を表現



区画分類ごとの図面上の表現は
ビューテンプレートにて規定

解説動画あり

入出力基準適合誓約書の記入例

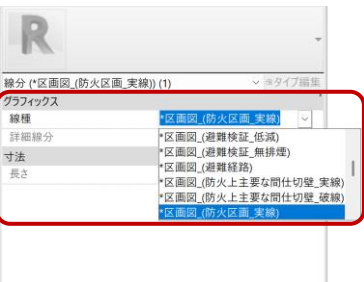
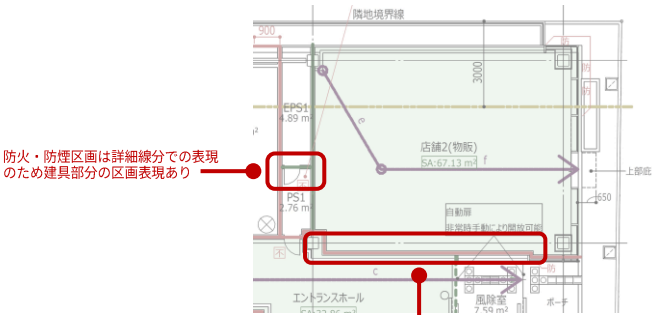
入出力基準に従い作成した明示すべき事項等			図書名										備考
番号		細目	概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図	断面図	
意-015	防火区画等（令第112条及び令第114条の規定）	①防火区画等の境界への該当及び防火区画等の種別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	防火区画は二次元加筆
		②面積	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え	
	入出力基準に従い作成することで、 図書間の整合が担保される事項	入出力の方法			
					細目
意-015	防火区画等（令第112条及び令第114条の規定）	①防火区画等の境界への該当及び防火区画等の種別 ②面積	入出力基準参照	Revit	「領域を示すオブジェクトを用いて」とあるが、基準を満たすように配置されている場合は、空間オブジェクトである「部屋」も使用可能。
				Archicad	領域を示すオブジェクトはゾーンを読み替える。 集計ツールは一覧表を読み替える。
				Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
				GLORIE	①防火区画等の境界への該当及び防火区画等の種別を用いて、防火区画オブジェクトを囲う壁等の法的区画種別属性を自動割り当てできる。 ②防火区画等において面積算定が必要な区画は、防火区画オブジェクトをベースを参照し入力する。

サンプルモデルにおける対応

防火区画等の位置は詳細線分にて作成（壁ファミリに依存しない）



標準参考テンプレートにて区画分類ごとの詳細線分を用意

解説動画あり

入出力基準適合誓約書の記入例

番号	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	図書名	備考									
			概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上り表	内部仕上り表	配置図	平面図	立面図	断面図
意-016	防煙壁による区画 (令第126条の2の規定)	①防煙壁による区画の境界への該当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	防煙区画は二次元加筆
		②面積	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		③排煙設備の種別	-	-	-	-	-	-	○	-	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
	入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項	入出力の方法		
意-016	防煙壁による区画（令第126条の2の規定）	①防煙壁による区画の境界への該当 ②面積 ③排煙設備の種別	Revit Archicad Vectorworks GLORIE	「領域を示すオブジェクトを用いて」とあるが、基準を満たすように配置されていれば、空間オブジェクトである「部屋」も使用可能。
				領域を示すオブジェクトはゾーンと読み替える。
				ソフトウェア特有の読み替えは無い
				①防煙区画等の境界への該当は、壁（パーティション・仕切り壁）を壁オブジェクトの法的区画種別属性として割り当てる。区画性面設定コマンドを用いて、防煙区画オブジェクトを囲う壁等の法的区画種別属性を自動割り当てで、空防煙壁において面積算定が必要な区画は、防煙区画オブジェクトをスペースを参照し入力する。

サンプルモデルにおける対応

防煙区画の境界の位置は詳細線分にて入力
区画面積・排煙種別は塗り潰し領域のパラメータを集計表に紐づけて表記

塗り潰し領域
(区画図)排煙区画区分 機械排煙

詳細項目 (1) 〰タイプ編集

拘束

床面積

文字

避難経路グループ

避難経路記号

避難経路記号並び順

寸法

避難経路距離

面積

96.96000000

識別情報

塗り潰し領域の面積は利用しない

イメージ

コメント

マーク

防火

正確な面積を手入力

区画面積

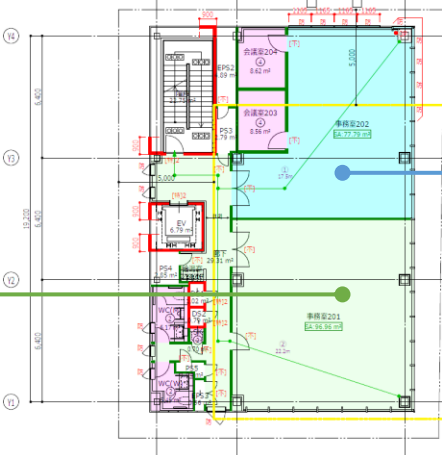
96.96000000

区画レベル(文字入力)

2F

排煙範囲

事務室201



塗り潰し領域
(区画図)排煙区画区分 自然排煙

詳細項目 (1) 〰タイプ編集

拘束

床面積

文字

避難経路グループ

避難経路記号

避難経路記号並び順

寸法

避難経路距離

面積

77.8044875

識別情報

塗り潰し領域の面積は利用しない

イメージ

コメント

マーク

防火

正確な面積を手入力

区画面積

77.79000000

区画レベル(文字入力)

2F

排煙範囲

事務室202

排煙範囲	排煙区分	区画面積(m2)
2F		
WC(W)	(区画図)排煙区画区分 免除告示 2号	5.45
WC(M)	(区画図)排煙区画区分 免除告示 2号	6.17
SK	(区画図)排煙区画区分 免除告示 2号	0.70
会議室204	(区画図)排煙区画区分 免除告示 4号	8.62
会議室203	(区画図)排煙区画区分 免除告示 4号	8.56
事務室201	(区画図)排煙区画区分 機械排煙	96.96
廊下+給湯室	(区画図)排煙区画区分 機械排煙	31.62
事務室202	(区画図)排煙区画区分 自然排煙	77.79

集計表にて連携

集計表にて連携

防火・防煙区画図

解説動画あり

入出力基準適合誓約書の記入例

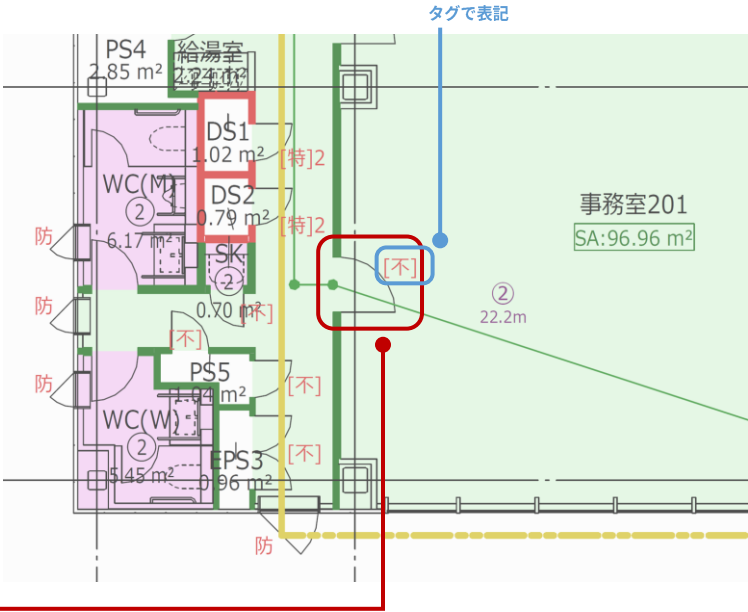
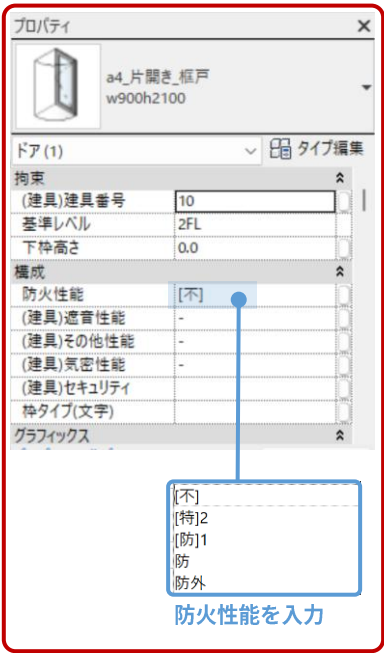
番号	入出力基準に準拠して作成した明示すべき事項等	図書名	概要書	建築面積積算図	床面積積算図	平均地盤面測定図	外部仕上り表	内部仕上り表	配置図	平面図	立面図	断面図	備考
意-017	防火設備等	①種別、閉鎖方式及び遮煙・遮熱性能の該当	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準	ソフト	ソフトウェア特有の読み替えは無い
意-017	防火設備等	Revit	ソフトウェア特有の読み替えは無い
		Archicad	建築設備の読み替えは無い
		Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
		GLORIE	①建具の防火設備/閉鎖方式/防火設備性能属性に、種別や性能を設定する。

サンプルモデルにおける対応

防火設備の仕様はドア/窓/壁（カーテンウォール）ファミリのインスタンスパラメータとして入力



解説動画あり

入出力基準適合誓約書の記入例

番号	図書名	備考	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等							
			概要書	建築面積積算図	床面積積算図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図
意-017	防火設備等		①種別、閉鎖方式及び遮煙・遮熱性能の該当	-	-	-	-	-	-	○

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	図書名	備考	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
			入出力の方法	細目		
意-017	防火設備等		入出力基準書参照	①種別、閉鎖方式及び遮煙・遮熱性能の該当の有無	Revit	ソフトウェア特有の読み替えは無い
					Archicad	建築仕様記述の読み替えは無い
					Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
					GLORIE	①種別の防火設備の図/閉鎖方式/防火設備性能属性に、種別や性能を設定する。

サンプルモデルにおける対応

防火設備の仕様はドア/窓/壁（カーテンウォール）ファミリのタイプパラメータとして入力



a1_片開きフラッシュ戸
w900h2100

ドア (1)

構成

(建具)その他性能

(建具)セキュリティ

(建具)気密性能

(建具)遮音性能

防火性能

不

防火性能を入力

タイププロパティ

ファミリ(F): a1_片開きフラッシュ戸

ロード(L)...

タイプ(T): w900h2100

複製(D)...

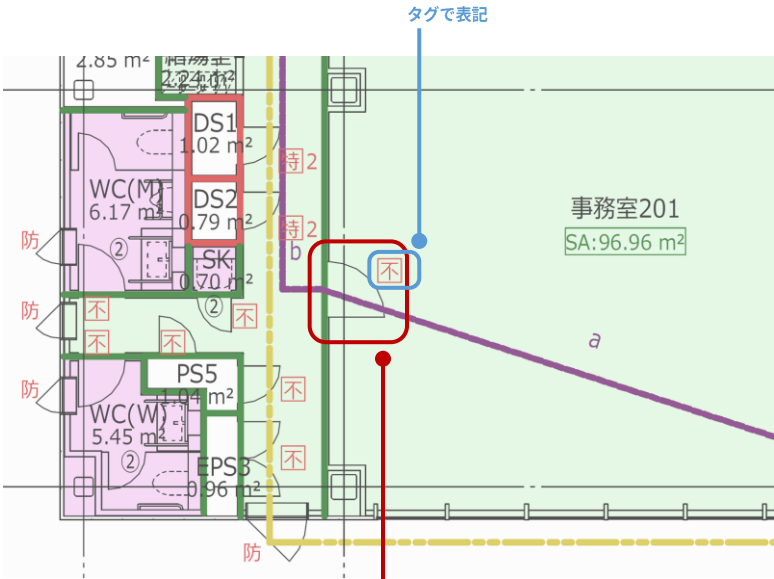
名前変更(R)...

タイプ パラメータ(M)

パラメータ	値
防火	
(建具)不	☒
(建具)不開	☐
(建具)特	☐
(建具)特S	☐
(建具)特開	☐
(建具)特開S	☐
(建具)防	☐
(建具)防S	☐
(建具)防外	☐
(建具)防開	☐
(建具)防開S	☐
一般	
Author	
データ	
アドイン情報	

これらのプロパティの動作

<< プレビュー(P) OK キャンセル 適用



入出力基準適合誓約書の記入例

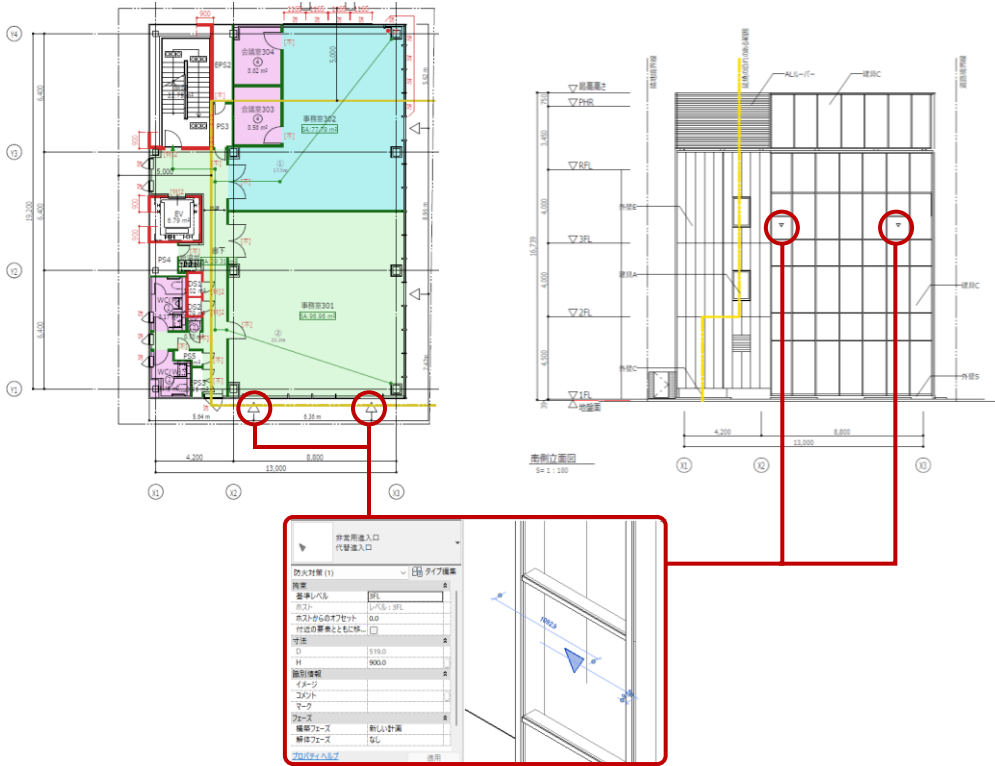
番号	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	細目	図書名								備考	
			概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図		立面図
意-018	非常用の進入口等	①種別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え	
	入出力基準に従い作成することで、 図書間の整合が担保される事項	入出力の方法			
					細目
意-018	非常用の進入口等	①種別	入出力基準書参照	Revit	入出力基準を満たすためには、 <u>ドア/壁(カーテンウォール)ファミリ</u> に、予め非常用進入口等の種別を表記するための設定を行う必要がある。例えば窓の場合、単窓であればその設定は容易であるが、連窓の場合は該当箇所がどの障子かを特定して表記する必要があり、設定難易度が高いため注意が必要である。
				Archicad	連窓やカーテンウォール等の場合、非常用の進入口等に該当する一部分に属性を入力表示する事が困難なため注意が必要。
				Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い。
				GLORIE	標準機能では該当するオブジェクトが無い。平面図と立面図の位置が連動するオブジェクトを揃える等で対応する。

サンプルモデルにおける対応

非常用進入口（代替進入口）ファミリによって平面図と立面図（+3Dビュー）を連携 ※入出力基準には適合しない



入出力基準適合誓約書の記入例

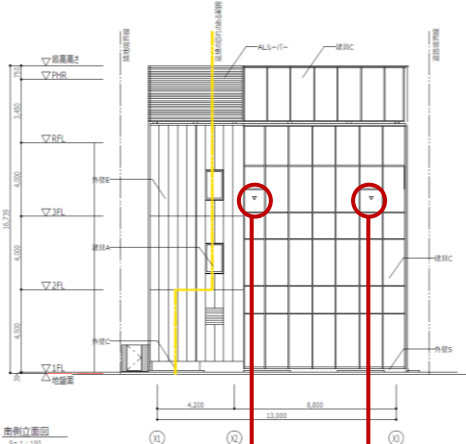
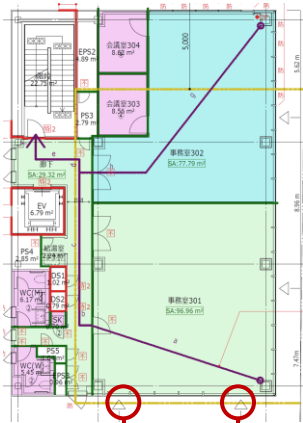
番号	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等		図書名										備考
	細目		概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図	断面図	
意-018	非常用の進入口等	①種別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
	入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項	入出力の方法		
意-018	非常用の進入口等	①種別	入出力基準書参照	Revit 入出力基準を満たすためには、 <u>ドア/窓/壁(カーテンウォール)ファミリ</u> に、予め非常用進入口等の種別を表記するための設定を行う必要がある。例えば窓の場合、単窓であればその設定は容易であるが、連窓の場合は該当箇所がどの障子かを特定して表記する必要があり、設定難易度が高いため注意が必要である。
			Archicad	連窓やカーテンウォール等の場合、非常用の進入口等に該当する一部分に属性を入力表示する事が困難なため注意が必要。
			Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い。
			GLORIE	標準機能では該当するオブジェクトが無い。平面図と立面図の位置が連動するオブジェクトを揃える等に対応する。

サンプルモデルにおける対応

非常用進入口（代替進入口）は一般注釈（記号）にて表現 ※入出力基準には適合しない



タイプ プロパティ

ファミリ(F): 一般注釈_非常用進入口

タイプ(T): 非常用進入口_黒-大

名前変更(N)...

タイプ パラメータ(M)

パラメータ	値
グラフィックス	
引出線矢印	なし
その他	
非常用進入口_赤-大	☐
非常用進入口_赤-中	☐
非常用進入口_赤-小	☐
非常用進入口_黒-大	☒
非常用進入口_黒-中	☐
非常用進入口_黒-小	☐

タイプ プロパティ

ファミリ(F): 一般タグ_出入口記号_赤

タイプ(T): 一般タグ_出入口記号_赤

名前変更(N)...

タイプ パラメータ(M)

パラメータ	値
グラフィックス	
引出線矢印	なし
寸法	
サイズ	4.0

入出力基準適合誓約書の記入例

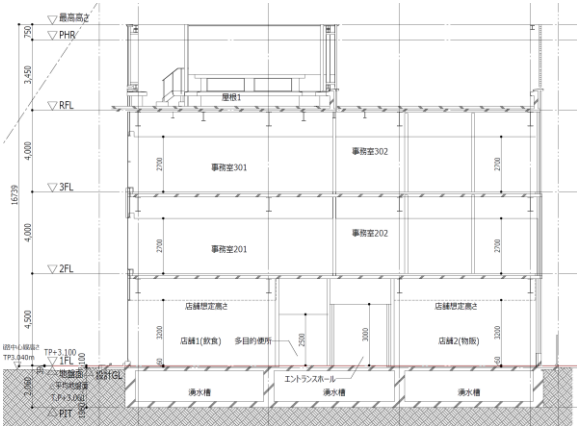
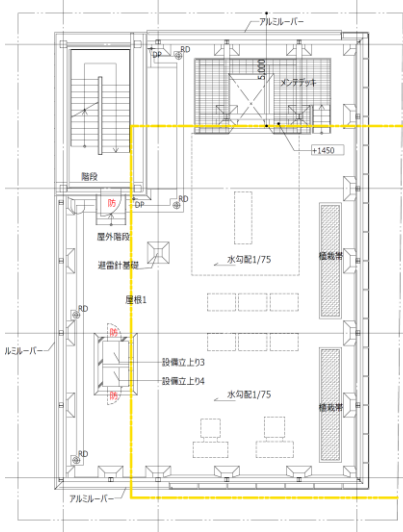
番号	入出力基準に従い作成した明示すべき事項等	図書名	図書名										備考
			概要書	建築面積求積図	床面積求積図	平均地盤面測定図	外部仕上げ表	内部仕上げ表	配置図	平面図	立面図	断面図	
意-019	令第126条第1項に規定する手すり壁、さく又は金網	①位置及び形状	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	②は特記事項による
		②床面から上端までの高さ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

ソフトウェアごとの用語読み替え表

番号	入出力基準		ソフト	ソフト毎の読み替え
	入出力基準に従い作成することで、図書間の整合が担保される事項	入出力の方法		
意-019	令第126条第1項に規定する手すり壁、さく又は金網	入出力基準参照	Revit	ソフトウェア特有の読み替えは無い
			Archicad	ソフトウェア特有の読み替えは無い
			Vectorworks	ソフトウェア特有の読み替えは無い
			GLORIE	ソフトウェア特有の読み替えは無い
			その他	ソフトウェア特有の読み替えは無い

サンプルモデルにおける対応

屋外階段の手すりは手すりファミリにて表現



手すり高さは特記にて言及

確認申請用特記	
⑤表記の省略	○ 特記なき限り、常閉または僅感知器連動の不燃扉上部の垂壁は30cm以上とする。
⑤表記の省略	○ 外部バルコニー、テラス、吹抜部の手すりは、H1100以上とする。
⑤表記の省略	○ 採光計算表に記載無き限りは、採光上の無窓居室とする。